

## 第2回菊川市こども・若者参画協議会 協議内容

---

日 時 令和6年7月17日(水) 午後6時～午後7時30分  
場 所 庁舎東館2階多目的エリア

### 1 議事

#### (1) こども・若者に関する法令等の説明

今後、こども・若者の意見聴取や意見反映について協議する上で必要な知識として、委員長からこども基本法について、磯崎委員から昨年度発表した菊川市こども・わかもの参画宣言について、事務局から菊川市こども計画について概要を説明した。

※若者委員への事前レクでは、昨年度の協議会に参加した先輩委員から協議会に参加した時の感想や、宣言に込めた思い、中学校への周知活動について引継ぎを行った。

#### (2) グループワーク

テーマ：菊川市こども・若者参画宣言に込められた「思い」を「形」にするために、必要な取り組みとは？

- ・テーマについて、年代等の4グループに分かれて協議した。グループ分けは、A：乳幼児～小学生、B：中学生～高校生、C 様々な状況で声を聴かれにくいこども、D：大学生～社会人
- ・様々な状況で声を聴かれにくいこどもとは、こども大綱に示されている貧困、虐待、いじめ、体罰、不登校、障がい、病気、非行など困難な状況に置かれたこどもや、ヤングケアラー、施設等で暮らすこども及びその経験者の他、外国人など言葉の壁があるこどもなども含まれる。
- ・こども・若者の大部分は、意見聴取・意見反映等について気にしてない、知らない、興味がない。

↓

- ・どうすれば、各年代のこども・若者に伝えられるか？
- ・どんな支援(人・しくみ・制度・関わり方など)があれば、意見が言いやすいか？
- ・どんな人たちに手伝ってもらおうか？
- ・自分たちにできることはあるか？

#### ○Aグループ：乳幼児～小学生

- ・宣言の指針のとおり、乳幼児でも意思表示できるように努めるのは大人の役目  
→簡単な言葉、イラスト、ふきだし、絵本、イメージが伝わるように  
選択式、安心して言える雰囲気、やさしい言い方、受け入れる気持ち
- ・こどもが自分でできること、自分で決める経験、自己肯定感を育む
- ・時間が掛かることなのでゆっくり、親にもちゃんと理解してもらおう、大人が誘

導や決定しない、家族以外の大人と関わる機会（先生、近所の人など）

- ・絵本をたくさん読む（読み聞かせする）ことで、言葉・表現力がつく
- ・小学校の道徳の授業で使ってほしい、先生方にも知ってもらいたい

### OBグループ：中学生～高校生

- ・参加参画：中高生の活動をサポートしてくれるユースワーカーを設置してほしい、まずは遊びから始めてみる、企画段階から若者を入れる法律
- ・参加する生徒が増える→お金の支援、学校内で参画チーム設置はやりやすい→最終的に生徒みんなまで
- ・意見聴取：オンラインやSNSでアンケート実施、若者議会の提案を政策に反映、意見形成を支援してくれる人が必要、意見を言うことが苦手な人もいる、居場所やC a f e、外国語での情報発信
- ・協働：大人が本当に聞いてくれるか、大人も教育が必要（まずは教員から）、若者の参画をサポートしようとする意識、協働センターの若者版の設置（ユースセンター）、大人と協働でスタート→最後は自走
- ・本当に中高生のニーズはまちづくりなのか？
- ・その他：学校の中でどれだけ広められるか、道徳とか総合学習とかで取り上げる、自分で決める経験は大切、中高生に意見を求めるなら場所・機会・仕組みを準備してからやってほしい、無記名でないと集まらない

### OCグループ：様々な状況で声を聴かれにくいこども

- ・事前：信頼関係がないと話してくれない、きっかけが作りにくい、当事者と気付けるように、まずは地域イベントに誘う、訪問しても話してもらえないかわからない
- ・制度や仕組み：24h ライン相談、学校でいじめ相談、雑談の場、公的機関ではない所で相談受付、カウンセラーが選べる
- ・当事者に市議になってもらおう、市長直轄部署に配属する、更生や保護の充実
- ・外国人：路上やマックなどたむろしているところに入っていける大人、将来をあきらめているこどもの声、多言語相談窓口で対応
- ・表現方法：マイクラで意見聴取、ラップで伝える、アート（絵や音楽）

### ODグループ：大学生～社会人

- ・自分の思い、匿名にして伝えやすく、きくがわ未来塾に参加、菊川に住んでいる大学生なら思いがあるはず、菊川の良さ（流行り、スポーツ、遊び場など）、デジタルネイティブなのでアプリを活用
- ・参画宣言を知る・理解する、意見が反映された後のビジョンを明確にする→意欲が高まる
- ・菊川のまちづくり活動を知る、まちづくり部で社会貢献活動、市長に提言できる流れ、こども・若者参画交付金を100万円に、若者向けフリーのコワーキングスペース、外国人との交流
- ・大学生市議をつくる、選挙に参加・投票、投票率を上げる活動
- ・意見を言うことで反映される、大学生・社会人が子どもの意見を聴く場をつく

る、子ども達のスタートラインを揃える活動、子どもが自分の思いを持つチカラを育てたい

以上